松江市古江地区から避難先施設までの主な経路



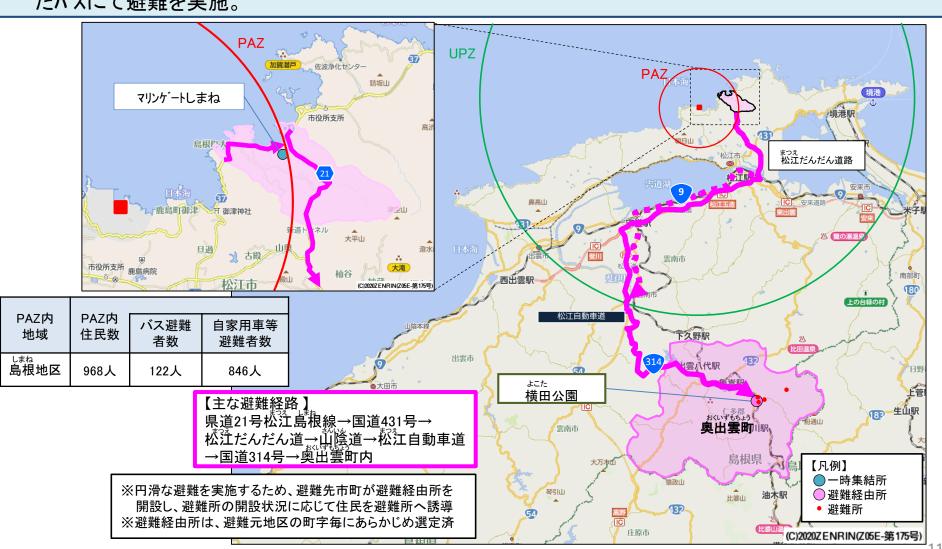
- ▶ 住民1,250人を十分に収容可能な避難所を確保するとともに、地域ごとにあらかじめ避難経路を設定。 自然災害等により避難経路が使用できない場合は、他の経路により避難を実施。
- ▶ バスにより避難する住民は、徒歩等で各地区内の一時集結所に集合し、島根県及び松江市が確保したが、スにて避難を実施。



松江市島根地区から避難先施設までの主な経路



- 住民968人を十分に収容可能な避難所を確保するとともに、地域ごとにあらかじめ避難経路を設定。 自然災害等により避難経路が使用できない場合は、他の経路により避難を実施。
- ▶ バスにより避難する住民は、徒歩等で各地区内の一時集結所に集合し、島根県及び松江市が確保し たバスにて避難を実施。



避難を円滑に行うための対応策(1)



➤ PAZ及びUPZ内の住民の車両による避難を円滑に行うため、ヘリからの映像伝送により道路渋滞を把握し、県警察による避難車両の誘導や、主要交差点等における交通整理・規制、「道路情報板」等を活用した広報等の交通対策を行う。

島根地域における交通対策

1. 交通誘導対策

・主要交差点等における警察職員等の 交通整理により、円滑な避難誘導を実 施

2. 交通広報対策

- ・道路管理者が管理する「道路情報 板」及び警察が管理する「交通情報板」 を活用した広報
- ・日本道路交通情報センター(JARTIC)が 行うラジオ放送、交通情報提供システム (AMIS)を利用したカーナビへの情報提供 による広報
- ・県配備の「避難誘導・交通規制用LED 表示装置」による広報 等

3. 交通規制対策

- ・混雑発生交差点における信号機操作、 混雑エリアでの交通整理・誘導・規制等に よる円滑な交通流の確保
- ・信号機の滅灯等動作不能の事態が発生した場合は、自動起動式発動発電機による応急復旧、警察官等による主要交差点等における交通規制により対応

